

## 3階ユニット

看護師長 田子 亜希子

### 1 部門目標

子どもと家族のニーズを早期に見出し、地域と繋がる看護の継続

### 2 業務体制・スタッフ

小児科外来と小児科病棟（HCU4床を含む42床）の一元化ユニット

受け持ち制、固定チームナーシング、7対1看護体制

小児入院医療管理料1を取得 看護師32名、看護補助者2名、保育士3名

### 3 業務実績

令和元年度の1日平均患者数30.6人（前年度+1.4人）、病床稼働率73.1%（前年度+3.6%）、平均在院日数3.8日 死亡件数0人 平均在院日数に変化はなかった

### 4 1年間の総括

退院支援スクリーニングシートが完成し、多職種と連携したカンファレンスは定期的に行われる様になった。このことにより看護師が子どもと家族の潜在的ニーズを入院早期に把握することができ、個別の支援に繋げることができている。具体的には、患者の権利と家族の思いに対立が生じた場面で多職種と連携し、家族の意識変容を支える取り組みをおこなったり、家族のニーズに合わせてきょうだいの面会時間を調整したりした。

病院組織の役割としてジェネラリストを育成するために、病棟目標の具体策を修正し、スタッフ一人一人に説明し、理解を求めた。結果的にスタッフの意識が変化し行動変容に繋げることができたが、自己評価の変化はみられなかった。スタッフが達成感を得て自信を持つためには、明確な課題を共有し、できたことに対して承認し、支援していくことが必要だと考える。

患者の安全、安心な医療を提供するための取り組みとしては、医療安全対策、災害対策をおこない、医療安全風土の醸成に力を入れてきた。しかし、インシデントの閲覧率が低いことや、環境整備不足があり、今後の検討課題である。また、救急シミュレーションの参加率の低下があった。

### 5 今後の目標

各々のカンファレンスを継続し、学びを深め子どもと家族に寄り添い最良の結果を導き出せるようにしていく必要がある。さらに、安心して地域で生活できるように、地域との連携を強化する取り組みの継続が必要であると考え。次年度は心臓外科が再開されることを受けて、救急対応を含めた看護実践能力の強化が課題であり、プロジェクトチームを結成し、取り組んでいきたい。